

「東京都スポーツ推進総合計画」の改定にあたって

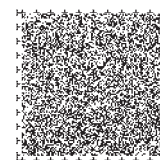
- 2021年、新型コロナウイルスとの闘いの中、1年の延期を経て開催された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、世界中に勇気と感動を届けることができました。大会の開催を通じて、スポーツの気運や共生社会への関心が高まり、スポーツインフラのバージョンアップをはじめ、東京に多様なレガシーを遺しています。
- 大会後、GRAND CYCLE TOKYO、東京レガシーハーフマラソンといった新たなスポーツイベントも生まれました。アーバンスポーツへの関心が高まり、多彩なスポーツやレクリエーションが広まって、楽しさや喜びを味わうことの大切さが多くの方々に認識されてきています。スポーツフィールド・東京は、進化を続けます。
- 少子高齢化や気候変動、デジタル化の進展など、スポーツを取り巻く環境も日々変化しています。新たな「東京都スポーツ推進総合計画」は、こうした変化を捉えながら、これからのスポーツ政策の方向性を示すものとして策定しました。
- 様々な取組を皆様と進めてきたことで、都民のスポーツ実施率は着実に向上しています。これからは、スポーツの質にも目を向け、一人ひとりのウェルビーイングを高めることを、本計画の理念に掲げました。
- また、応援は選手に力を与え、自らの活力にもつながります。スポーツへの参画方法として位置付けてきた「する」「みる」「支える」に「応援する」を加え、一人ひとりに合ったスポーツへの関わりを促し、都民の皆様の暮らしを豊かにする施策を展開します。
- 令和7（2025）年には、東京2025世界陸上と東京2025デフリンピックが開催されます。この2つの大会は、都民のスポーツへの関心を一層高める絶好の機会です。都民や企業、関係団体等の皆様のご理解とご協力の下で本計画を着実に前へ進め、東京を誰もがスポーツを楽しむ、世界に誇れるスポーツ拠点へと発展させてまいります。



令和7（2025）年3月

東京都知事

小池百合子



第1編 総論（計画の考え方） 008

第1章 東京におけるスポーツの推進 | 008

1 計画策定の背景 | 010

- (1) 東京都スポーツ推進総合計画とは | 010
- (2) 大規模スポーツ大会の開催経験 | 012
- (3) 東京2020大会のレガシー | 013
- (4) 東京2020大会後の国際スポーツ大会の開催等 | 016
- (5) コロナ禍がもたらした影響 | 018

2 本計画におけるスポーツとは | 020

- (1) 「スポーツ」の範囲に関する整理 | 020
- (2) eスポーツについて | 021

3 スポーツの意義・価値 | 022

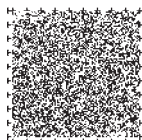
- (1) スポーツの内在的価値や外在的価値 | 022

4 スポーツの効用・効果 | 023

- (1) 健康の維持・増進 | 023
- (2) 共生社会の実現 | 027
- (3) 地域・経済の活性化 | 030

5 スポーツへの参画方法 | 032

- (1) する・みる・支える・応援する | 032



第2章 東京のスポーツを取り巻く状況 | 034

1 スポーツを取り巻く環境の変化 | 035

- (1) 人口構成・世帯数の変化 | 035
- (2) 平均寿命・健康寿命・体力の変化 | 037
- (3) スポーツ実施状況 | 040
- (4) 気候の変化・労働の変化 | 046
- (5) デジタル／テクノロジーの活用 | 047
- (6) eスポーツに関する動向 | 048
- (7) 国の動向 | 051
- (8) 企業等の動向 | 053

2 世界における日本・東京の現在 | 054

- (1) 高齢化の進行を踏まえた都市モデルの構築 | 054
- (2) スタートアップ・エコシステム・ランキング | 055
- (3) 訪都旅行者数や訪都外国人の活動 | 056
- (4) 東京マラソン出走者における外国人数の推移 | 057

第3章 基本理念・目標 | 058

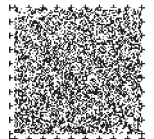
1 本計画の基本理念・将来のビジョンと4つの政策の柱 | 060

2 政策強化に向けた施策 | 062

3 達成指標一覧 | 064

4 重点政策テーマ | 066

5 計画の体系 | 068



第2編 各論（計画の具体的な展開） 070

第1章 目標達成に向けた施策展開 | 070

1 重点政策テーマ | 072

- Project 0 : スポーツの力を高める「スポーツDXプロジェクト」 | 072
- Project 1 : スポーツとともに育つ「チルドレン・スポーツ・プロジェクト」 | 078
- Project 2 : 多様性があふれる「スポーツ・ダイバーシティ・プロジェクト」 | 084
- Project 3 : スポーツの力で世界をリードする「TOKYOの魅力向上プロジェクト」 | 100
- Project 4 : スポーツを楽しむ環境を実現する「スポーツFACILITIESプロジェクト」 | 108
- Project 5 : スポーツを支える仕組みを創る「支える担い手確保プロジェクト」 | 116

2 柱ごとの施策・取組 | 124

政策の柱1 スポーツで輝く | 124

- 施策① スポーツに触れる「はじめの一步」を後押し | 125
- 施策② ライフステージに応じたスポーツを推進 | 137
- 施策③ 東京にゆかりのあるアスリートが躍動 | 152

政策の柱2 スポーツでつながる | 162

- 施策① パラスポーツを楽しむ・パラスポーツで輝く | 163
- 施策② バリアフリー化やユニバーサルコミュニケーション技術の社会実装を促進 | 180
- 施策③ 多様な人々がスポーツでつながる、スポーツとつながる | 185

政策の柱3 スポーツでにぎわう | 194

- 施策① 都内各地でスポーツイベントを開催し、都市に活力をプラス | 195
- 施策② 住み慣れた地域でのスポーツをサポート | 211
- 施策③ スポーツの魅力を発信し、スポーツを通じて感動を味わう | 219



政策の柱4 スポーツを支える | 222

施策① 様々な価値を創出するスポーツ環境の整備・運営や、環境に配慮した施設・大会運営 | 223

施策② 多様な主体と連携し、スポーツに関わる人材の裾野を広げる・磨く | 231

施策③ 安全・安心なスポーツ、信頼されるスポーツ大会の実現 | 246

第2章 計画の着実な推進と進行管理 | 252

附属資料 | 256

○ パラスポーツの振興 | 257

○ 多摩・島しょに関する施策 | 275

○ 計画策定の経緯（審議会・都民意見の聴取） | 289

